

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	地域療育支援事業所 第2はまゆう療育園 (重心対象/放課後等デイサービス)		公表日		2026年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員に対し、指導訓練室の広さは充分か。	5		訓練や活動を行うために必要な広さとなっております。	動線上に物を置かないなど整理整頓に取り組んでおります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		主として重症心身障害児を通わせる場合の従業者の基準に沿って配置している。	医ケア児への対応として、看護職員の配置に特に気を配っております。
	3	生活空間は、構造化（こどもが理解しやすい）された環境になっているか。また、設備（バリアフリーなど）はこどもの障害特性に応じたものになっているか。	5		玄関から室内までバリアフリーで車椅子のまま入室出来る環境となっております。	室内掲示をこどもが理解しやすい写真・イラスト・ひらがな表記に改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で心地よい環境になっているか。また、こどもの特性・状況に合った配置となっているか。	5		感染対策（消毒）や環境整備（清掃）など、重症化しやすい利用者様に合わせた気配りを心掛けております。	施設内の照明がすべてLED化になりました。明るく過ごしやすい環境へ改善することが出来ました。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		こどもの状況に合わせて、個室（相談室・静養室）を準備しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に見直しを行い、全職員が検証・検討を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者評価は全職員で情報共有し、改善策を検討しております。	改善策も含め、ホームページ上にて年一回公表しております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日申し送りのなかで職員の意見を確認し、検討したのち業務改善につなげております。	申し送りは必ず全職員が発言することにしております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	現在、第三者による評価は行っておりません。	対象児童が2名のみで、現在第三者評価導入の必要性については検討を重ねているところです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		園内研修では職員が持ち回りで講師を担当する体制に改善しました。その結果、講師役職員も事前学習が必要となり、本人にとってもスキルアップにつながっております。	遠方の外部研修は人員不足のため参加が難しいため、オンラインでの研修のほうに積極的に参加するようにしております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		※支援プログラムは、ホームページ（2024年11月8日）上にて公表しております。	見直しにより変更が生じた場合は再度ホームページ上にて公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談により客観的な分析のもと作成しております。	寝たきりの児童の意思決定把握が難しく、こちらから問いかけしながら表情にて気持ちを汲み取るようにしております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画作成には、多職種の職員が集まり普段の様子などの情報をもとに最善の支援方法を検討しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画書は職員間で情報共有され、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		新規受け入れの際には、「遠城寺式発達検査」「乳幼児分析的発達検査」を活用し確認しております。	意思表示が困難でも出来るだけ「こどもの小さなサイン」を読みとれるよう細心の注意で対応しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		家族支援、移行支援、地域支援・地域連携のほかにも、本人支援として5領域（①健康・生活②運動・感覚③認知・行動④言語・コミュニケーション⑤人間関係・社会性）を意識した支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個別に児童担当職員が立案し、その内容について多職種が集まり検討しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事や活動・制作など職員からアイデアを募り、工夫するようにしています。	他事業所の活動なども参考にしていますが、障害の特性に合わせた新しい企画は少ないのが現状です。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		計画は個別活動と集団活動（行事：誕生会、クリスマス会、花見ドライブなど）を組み合わせ合わせた計画にて支援を行っております。	多機能型のため、集団活動については生活介護の利用者とともに楽しんでいただいております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		事前に、支援方法や注意すべき点などを職員間で確認している。	始業前には、「職員の行動規範」を全員で唱和し、支援に対する意識の統一を図っております。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後の打合せでは、学校や保護者から得た情報や療育中の児童の様子などの情報を報告し、気付いた点などを共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援内容だけでなく、気付いた点や申し送り内容なども記録に残すようにしております。	児童発達支援管理責任者がチェックし、出来るだけ多くの情報を盛り込むよう促しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的（6カ月に一度）の見直しでは、全職員で検証・確認をおこない、面談にて保護者から新たな課題や要望を聞き出すようにしております。	「お願いしている立場なので」との声も聞かれるため、出来るだけこちらから積極的に要望を引き出す声掛けを心掛けてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		ガイドラインの4つの基本活動で、その子どもの障害特性に合ったものを選択・組み合わせさせて支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		文字理解が出来る児童に対しては、計画書の関係部分を「ひらがな」表記して意思決定出来る工夫をしています。	寝たきりで意思表示が困難な児童は、こちらからの問いかけに対する表情や目の動きで出来るだけ本人の意思（気持ち）を汲み取るように配慮する対応を心掛けております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		こどもの状況を熟知した児童発達支援管理責任者が会議に参加しております。	他職員からも情報を集め、会議に出席するよう配慮を行っております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関と天草圏域支援打合せ会議、天草地区通所支援事業所連携会議（年3回）、担当者会議、医療的ケア児支援会議など積極的に参加し、情報共有及び関係機関との連携を図っております。	天草地域通所支援事業所連携会議においては、関係機関と情報交換を行い、課題検討を行っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時申し送り、支援会議など情報共有と連絡調整を行っております。	「天草支援学校の保護者連絡システム」に児童発達支援管理責任者が登録参加し、協力体制を継続しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		担当者会議や支援会議などへ参加し、療育内容・児童の様子等の情報を共有し、相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		現在該当者はおりませんが、求めに応じていつでも利用当時の支援の状況等の情報を提供できる体制をとっております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		児童発達支援センターの会議や研修に参加させていただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	地域のイベントへ積極的に参加（見学）することで社会参加と地域交流を図っております。	近くに交流できるこどもの施設がなく、人間関係・社会性において地域と関わりが持てる別の方法を現在模索しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		会議や研修の内容に合わせ適任者（管理者・児発管・作業療法士など）が参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に情報交換を行い、子どもの発達状況や課題について情報共有を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族の参加できる研修機会や情報提供等を行っているか。	4	1	児童発達支援センターでペアトレや家族参加型の研修などが行われており、それらの情報を園内掲示し周知しております。	「実際には参加者が少ない」とのことなので、事業所からも積極的に案内していこうと思います。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用開始（契約）時に行っております。	変更等による更新の際には、あらためて丁寧に説明を行っていききたいと思います。
	37	「放課後等デイサービス計画」を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもや保護者から求められていることが最優先になるよう計画作成しております。意向は面談にて確認するようにしております。	面談が難しい場合には、電話やLINE、書面でのやり取りにて情報を補足し作成しております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援管理責任者が、計画（案）を示しながら丁寧に説明を行っております。内容に納得いただいた上で同意（署名）を頂いております。	定期的な見直しについても、原案を示しながら丁寧に説明を心掛けております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		電話やLINE、送迎時などに直接職員が相談を受けますが、それらは管理者へ報告されたのちあらためて管理者より速やかに回答（助言）する体制をとっております。	内容によっては、担当する相談員と情報共有し、また解決に向けて他の関係機関へつなぐ対応をとる場合もあります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		親子ふれあい会を催しているが、保護者同士の日程の都合がつかず、交流の機会とまではない状況。	児童発達支援センターにて同じ悩みを持つ親どうしの出会いの場として「親の集い」という集まりがあるので、そちらに繋げていこうと考えております。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応について重要事項説明書と園内掲示ポスターにて周知しております。玄関に投書箱も設置し、体制を整えております。	苦情まで至らないよう、相談時点で迅速に対応していきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月行事の案内配布のほか、日々の活動の様子をホームページ上にて公表しております。	ご家族様におかれてはあまりホームページの閲覧が少ないようなので、今後は周知に向けて取り組んでいきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報マニュアル整備されております。年一回は職員向けに研修を行い、普段の会話等で外部へ情報が漏洩しないよう体制を整えております。	ホームページへの活動時の写真使用の際には、その都度ご家族様へ了解を得るように対応しております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ゆっくり話す、大きい文字で見やすくする、イラストや写真など視覚的に分かりやすい方法に配慮しております。	あとで見直し（確認）が出来るよう、情報の伝達には電話より書類（文書）やLINEを優先しております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		今年度は、クリスマス会に地域住民（地元ボランティアやウクレレ教室）に参加していただき合同にて演奏会を催しました。	現在、地元ボランティアに毎月、ウクレレ教室に不定期で訪問していただいております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練は、ホームページ上にて公表しております。また、各種マニュアルも定期的な見直しを行っております。	各マニュアルについては、再度家族へ説明する機会を検討しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画（BCP）は、感染と自然災害に対しそれぞれ策定しております。防災検討会は毎月開催し、計画に沿って訓練も行っております。	訓練に利用者様も参加して頂いております。ケガが無いよう、また天候（暑い・寒い）に配慮した訓練を心掛けております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		薬の変更や検査、発作の状況など資料や情報をいただき職員間で共有しております。	医療スタッフ（看護職員）だけでなく、全職員が情報を共有し対応出来る体制をとっております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現在食物アレルギーの対象児童はおりませんが、家族経由で主治医からの指示内容の情報をいただく体制をとっております。	食物アレルギーは、管理栄養士と情報を共有し対応しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画では、年間計画に従い研修・訓練・点検などを実施しております。	支援について専門職が他の職員へレクチャーや指導を行う場合もあります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画での研修会や訓練等の情報は、毎月配布する「行事予定表」に記載し周知しております。	現在災害時の帰宅困難想定の実業所待機についてご家族のご理解を得て、本人用のオムツ（少量）を事業所内で預かる取り組みを行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットは当日に会議を行い再発防止に向けた対策を全職員で検討しております。約1カ月後に検証を行い、また、月に1回はまゆら療育園と合同の医療安全対策委員会へ参加し情報を共有しております。	最近件数が少ない傾向にあるため、再度、小さいことでも必ず挙げるよう周知したいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止・身体拘束等適正化研修は、年2回行っております。マナーリ化を防ぐため、今年度市役所に依頼し講師を派遣して頂きました。	疑わしい事例についても掘り起こしていけるよう、定期的な職員アンケートも継続しております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		ベッド柵や健康診断時の採血で「腕押さえ」など保護者へ説明と同意（署名）を頂きその旨を計画書に記載しておりましたが、現在それらも解消することが出来ております。今のところ、身体拘束はありません。	身体拘束をしないで済む方法がないかを常に意識した体制を整えております。